



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



平成22年10月28日

上場会社名 日本たばこ産業株式会社

上場取引所 東大名札福

コード番号 2914 URL <http://www.jiti.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 宏

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コミュニケーション責任者 (氏名) 田中 泰行 TEL 03-3582-3111

四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日 配当支払開始予定日 平成22年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	3,298,734	8.0	198,884	21.5	186,191	37.8	81,954	24.0
22年3月期第2四半期	3,054,254	△12.7	163,727	△20.0	135,133	△10.7	66,068	△4.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	8,554.64	8,552.76
22年3月期第2四半期	6,896.39	6,895.72

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	3,812,171	1,696,676	42.5	169,121.49
22年3月期	3,872,595	1,723,278	42.6	172,139.61

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 1,620,201百万円 22年3月期 1,649,114百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	2,800.00	—	3,000.00	5,800.00
23年3月期	—	2,800.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	2,800.00	5,600.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

※平成22年3月期の1株当たり期末配当金は、普通配当2,800円に会社設立25周年記念配当200円を加えた金額です。

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,910,000	△3.7	281,000	△5.2	261,000	2.2	115,000	△16.9	12,004.05

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.7「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 _____）、除外 一社（社名 _____）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	10,000,000株	22年3月期	10,000,000株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	419,896株	22年3月期	419,903株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	9,580,100株	22年3月期2Q	9,580,084株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

本四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、8ページ及び「2011年3月期第2四半期 決算説明会資料」の将来に関する記述等についてのご注意をご参照ください。

添付資料 目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報
 - (1) 連結経営成績に関する定性的情報 P2
 - (2) 連結財政状態に関する定性的情報 P5
 - (3) 連結業績予想に関する定性的情報 P6
2. その他の情報
 - (1) 重要な子会社の異動の概要 P7
 - (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 P7
 - (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 P7
3. 四半期連結財務諸表
 - (1) 四半期連結貸借対照表 P9
 - (2) 四半期連結損益計算書 P11
 - (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 P12
 - (4) セグメント情報 P14
 - (5) 継続企業の前提に関する注記 P18
 - (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 P18

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号)の適用開始に伴い、当連結会計年度より、マネジメント・アプローチに基づき、経営陣が経営上の意思決定等に使用する一連のセグメント情報を開示しております。詳細につきましては、7ページの「(ご参考)『セグメント情報等の開示に関する会計基準』の適用について」をご参照ください。

① 全般的概況

売上高

国内たばこ事業において、10月の増税・定価改定前の駆け込み需要の発生に伴い販売数量が増加したこと、海外たばこ事業においては、販売数量の減少及び円高による換算上のマイナス影響を単価上昇効果及び主要市場の現地通貨の為替のプラス影響が上回ったこと等から、売上高は前年同期比2,444億円増収の3兆2,987億円(前年同期比8.0%増)となりました。

	2010年3月期 第2四半期 (億円)	2011年3月期 第2四半期 (億円)	前年同期比増減 (億円、%)	
連結売上高	30,542	32,987	2,444	8.0
国内たばこ事業	15,757	17,329	1,572	10.0
海外たばこ事業	12,457	13,360	903	7.2
医薬事業	221	231	10	4.6
食品事業	2,008	1,968	△39	△2.0

※ 外部売上高で表示しております。

※ 連結売上高には、上記の他、不動産賃貸等に係るその他の売上高があります。詳細につきましては、「3. 四半期連結財務諸表 (4) セグメント情報 3. 報告セグメントの合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容」をご参照ください。

連結売上高からたばこ税相当額を控除した、たばこ税売上高は以下のとおりです。

	2010年3月期 第2四半期 (億円)	2011年3月期 第2四半期 (億円)	前年同期比増減 (億円、%)	
連結売上高	30,542	32,987	2,444	8.0
たばこ税相当額	17,949	19,739	1,789	10.0
たばこ税売上高	12,593	13,248	654	5.2

国内たばこ事業及び海外たばこ事業別のたばこ税売上高等の情報は以下のとおりです。

[国内たばこ事業]

	2010年3月期 第2四半期 (億円)	2011年3月期 第2四半期 (億円)	前年同期比増減 (億円、%)	
たばこ税込売上高	15,757	17,329	1,572	10.0
たばこ税売上高	5,270	5,770	500	9.5
内、調整後税売上高 ^(注)	3,188	3,514	326	10.2

(注) 国内たばこ事業においては輸入たばこ、国内免税、中国事業等に係る売上高を控除しております。

[海外たばこ事業]

	2010年3月期 第2四半期 (億円)	2011年3月期 第2四半期 (億円)	前年同期比増減 (億円、%)	
たばこ税込売上高	12,457	13,360	903	7.2
たばこ税売上高	4,994	5,179	185	3.7
内、調整後税売上高 ^(注)	4,350	4,540	190	4.4

(注) 海外たばこ事業においては物流事業、葉たばこ販売、製造受託等に係る売上高を控除しております。

営業利益/EBITDA

国内たばこ事業及び海外たばこ事業における増収を受け、営業利益は前年同期比 351 億円増益の 1,988 億円（前年同期比 21.5%増）となりました。また、EBITDA につきましては、国内たばこ事業における自動販売機に係る減価償却費の減少、一部商標権の償却終了等に伴い、減価償却費が 80 億円減少したことから、前年同期比 270 億円増益の 3,064 億円（前年同期比 9.7%増）となりました。

	2010年3月期 第2四半期 (旧会計基準) (億円)	2010年3月期 第2四半期 (新会計基準) (億円)	2011年3月期 第2四半期 (新会計基準) (億円)	前年同期比増減 (新会計基準) (億円、%)	
営業利益	1,637	1,637	1,988	351	21.5
EBITDA	2,793	2,793	3,064	270	9.7
国内たばこ事業	1,388	1,335	1,501	165	12.4
海外たばこ事業	1,302	1,438	1,538	99	6.9
医薬事業	△49	△49	△48	1	—
食品事業	84	84	96	12	14.8

※ EBITDA には、上記の他、その他の売上高に係る EBITDA 等があります。詳細につきましては、「3. 四半期連結財務諸表 (4) セグメント情報 3. 報告セグメントの合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容」をご参照ください。

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費（有形固定資産、無形固定資産、長期前払費用及びのれんの償却を含む）

経常利益

事業運営上行っている為替のヘッジ活動に伴い発生した為替差損の改善、借入金の返済及び社債の償還等に伴う支払利息の減少等により、営業外損益は 159 億円改善しました。営業利益までの 351 億円の増益をあわせ、経常利益は前年同期比 510 億円増益の 1,861 億円（前年同期比 37.8%増）となりました。

四半期純利益

固定資産売却益の減少に加え、カナダにおける行政法規違反に係る過料の支払に伴う損失計上及び食品事業における事業体制の強化に向けた費用の計上等により、特別損益は 277 億円悪化しました。これらが、経常利益までの 510 億円の増益を一部相殺し、税金等調整前四半期純利益は前年同期比 232 億円増益の 1,606 億円となりました。四半期純利益は、税金等調整前四半期純利益の増加に伴い法人税等の計上額が 72 億円増加したこと等から、前年同期比 158 億円増益の 819 億円（前年同期比 24.0%増）となりました。

②事業別の概況

〔国内たばこ事業〕

当第2四半期における紙巻たばこの販売数量は、10月の増税に伴う定価改定に先立ち、1ヶ月分程度の駆け込み需要が発生したこと等により、前年同期に対し79億本増加し、865億本^(注)(前年同期比10.1%増)となりました。

当第2四半期においては、少子化や高齢化の進展等といった構造的な要因に加えて、増税・定価改定のアナウンス影響による需要の減少等があったものの、駆け込み需要の発生がこれらを上回り、前年同期に対し販売数量は増加しました。

また、当第2四半期のシェアは64.9%(前年度シェア64.9%)、千本当税売上高は4,053円となりました。

今後とも引き続き、製品価値向上に資する研究開発の強化、主要ブランドを中心とした新製品の投入、また品質・デザイン・パッケージ形態等の改善等により、お客様にご満足いただける、価格に相応しい品質・サービスの提供に取り組んでまいります。

本年11月には、当社が特に注力しているブランドの内、マイルドセブン・ファミリーにおいてメンソール4銘柄のパッケージ形態を変更し、またピアニッシモ・ファミリーにおいて「ピアニッシモ・スーパースリム・メンソール・ワン」を発売する予定です。また、5月よりまったく新しいスタイルの無煙たばこ「ゼロスタイル・ミント」を発売するなど、嗜好品であるたばこをより楽しんでいただくために、紙巻たばこに限らず、お客様の多様なニーズにお応えすべく広く商品の開発に取り組んでおります。

この結果、販売数量の増加により、たばこ税売上高は前年同期比500億円増収の5,770億円(前年同期比9.5%増)、調整後税売上高は前年同期比326億円増収の3,514億円(前年同期比10.2%増)となりました。EBITDAは、増税・定価改定に伴う一時的な費用の発生等があったものの、売上の増加により、前年同期比165億円増益の1,501億円(前年同期比12.4%増)となりました。

(注) 当該数値の他に、国内免税市場及び当社の中国事業部管轄の中国・香港・マカオ市場の当第2四半期における販売数量19億本があります。

〔海外たばこ事業〕

当第2四半期におけるGFB^(注1)につきましては、「ウinston」がフランスで、「キャメル」がトルコ、フランスで順調に伸張しました。しかしながら、ロシア等での総需要減少に加え、一部特定の市場における不安定な事業環境の影響等により、GFBの販売数量は前年同期に対し30億本減少し1,183億本(前年同期比2.5%減)、GFBを含む総販売数量は前年同期に対し113億本減少し、2,047億本^(注2)(前年同期比5.2%減)となりました。

当第2四半期においては、販売数量の減少はあるものの、単価上昇効果に加えて、主要市場の現地通貨が、海外たばこ事業の決算を連結する子会社において使用する米国ドルに対して前年同期比で有利に推移したことから、ドルベースのたばこ税売上高は前年同期比445百万ドル増収の5,670百万ドル(前年同期比8.5%増)、調整後税売上高は前年同期比419百万ドル増収の4,970百万ドル(前年同期比9.2%増)となりました。EBITDAは、葉たばこ価格の上昇を受けた売上原価の増加等があったものの、前年同期比179百万ドル増益の1,684百万ドル(前年同期比11.9%増)となりました。

この結果、邦貨換算時に円高の影響を受けたものの、たばこ税売上高は前年同期比185億円増収の5,179億円(前年同期比3.7%増)、調整後税売上高は前年同期比190億円増収の4,540億円(前年同期比4.4%増)、EBITDAは前年同期比99億円増益の1,538億円(前年同期比6.9%増)となりました。

(注1) ブランド・ポートフォリオの根幹を支える「ウinston」「キャメル」「マイルドセブン」「ペンソン・アンド・ヘッジス」「シルクカット」「LD」「ソブラニー」「グラマー」の8ブランドをGFB(グローバル・フラッグシップ・ブランド)としております。

(注2) 当該数値の他に、主としてドイツ市場において展開しているプライベートブランドの当第2四半期の販売数量4億本があります。

※ 当第2四半期における為替レートにつきましては、前年同期比4.23円 円高の1米国ドル=91.36円(前

年同期は1米ドル=95.59円)です。

〔医薬事業〕

医薬事業につきましては、後期開発品の充実、研究開発パイプラインの強化に注力しております。開発状況としましては、糖尿病治療薬「JTT-654」の開発を中止しましたが、糖尿病治療薬「JTT-851」の臨床試験段階への移行により、自社開発品10品目^(注)が臨床試験の段階にあります。

子会社鳥居薬品㈱につきましては、「注射用フサン(蛋白分解酵素阻害剤)」の売上高は減少したものの、「レミッチカプセル(血液透析患者における経口そう痒症改善剤)」「ツルバダ配合錠(抗HIV薬)」等の売上高が伸張したことにより増収となりましたが、売上原価、販売費及び一般管理費が増加したことから営業利益は減益となりました。

当第2四半期における売上高につきましては、鳥居薬品㈱における増収があったことから、前年同期比10億円増収の231億円(前年同期比4.6%増)となりました。EBITDAにつきましては、48億円のマイナス(前年同期のEBITDAは49億円のマイナス)となりました。

(注) 臨床開発品目につきましては、「2011年3月期第2四半期 決算説明会資料」の「臨床開発品目一覧(10月28日現在)」をご覧ください。

〔食品事業〕

当第2四半期における売上高は、飲料事業では猛暑による好影響及び基幹ブランド「ルーツ」への注力により増収となったものの、加工食品事業等において、精白米等の卸売事業の廃止及び一部子会社を連結対象外としたことによる影響に加え、主に外食産業向け業務用商品の売上減により、前年同期比39億円減収の1,968億円(前年同期比2.0%減)となりました。EBITDAにつきましては、加工食品事業等における業務用商品の減収影響があるものの、飲料事業が堅調に推移したことにより、前年同期比12億円増益の96億円(前年同期比14.8%増)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における現金及び現金同等物は、前年度末に比べ484億円増加し、2,028億円となりました。(前年同期末残高1,489億円)

〔営業活動によるキャッシュ・フロー〕

当第2四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、3,417億円の収入(前年同期は1,051億円の収入)となりました。これは、たばこ事業を中心とした増収増益によりEBITDAを3,064億円計上したことに加え、主として、期末の未払たばこ税が、10月の増税・定価改定前の駆け込み需要の発生により、通常に比べ約1ヶ月分程度増加した一時的な要因によるものです。

〔投資活動によるキャッシュ・フロー〕

当第2四半期の投資活動によるキャッシュ・フローは、706億円の支出(前年同期は395億円の支出)となりました。これは、有価証券の売却収入等があった一方、有形固定資産の取得及び有価証券の取得等による支出があったことによるものです。

〔財務活動によるキャッシュ・フロー〕

当第2四半期の財務活動によるキャッシュ・フローは、2,152億円の支出(前年同期は939億円の支出)となりました。これは、配当金の支払い及び社債の償還に加え、営業活動によるキャッシュ・フローの一時的増加を受けて、短期借入金の返済及びコマーシャル・ペーパーの償還を行ったことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

海外たばこ事業における主要市場の現地通貨の前提為替レート及び邦貨換算レートの見直しに伴う為替のマイナス影響、国内たばこ事業における販売数量の見直し、食品事業における精白米等の卸売事業の廃止及び業務用商品の売上不振による影響等を織り込み、売上高については700億円下方修正し、たばこ税抜連結売上高については、640億円下方修正いたします。

EBITDA及び営業利益については、主として為替前提見直しの影響から、それぞれ180億円、140億円下方修正いたします。また、経常利益及び当期純利益については、下方修正額をそれぞれ150億円、180億円といたします。

	前回予想 (2010年4月28日公表)	今回予想	前回予想比増減
連結売上高	59,800億円	59,100億円	△700億円
たばこ税抜連結売上高	24,620億円	23,980億円	△640億円
EBITDA	5,130億円	4,950億円	△180億円
営業利益	2,950億円	2,810億円	△140億円
経常利益	2,760億円	2,610億円	△150億円
当期純利益	1,330億円	1,150億円	△180億円

※当期の見通しの主な前提条件

国内たばこ事業

	前回予想	今回予想
販売数量	1,275億本	1,255億本

海外たばこ事業

	前回予想	今回予想
販売数量	4,330億本	4,285億本
為替レート(1米ドル)	90.00円	87.00円

(注) 前回予想時に前提とした主要な現地通貨の米ドルに対するレートにつきましては、1米ドルにつき、29.50ルーブル、0.65英ポンド、0.68ユーロとしておりました。なお、今回予想時では1米ドルに対し、30.10ルーブル、0.64英ポンド、0.75ユーロとしております。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

(ご参考)

「セグメント情報等の開示に関する会計基準」の適用について

当該セグメント基準の適用に伴う、主な変更点は以下のとおりです。

i) 報告セグメント

マネジメント・アプローチに基づき報告セグメントを決定した結果、国内たばこ事業、海外たばこ事業、医薬事業、食品事業の各セグメントを報告セグメントといたしました。

ii) たばこ税売上高の開示

セグメント売上高として、新たにたばこ税相当額を控除したたばこ税売上高を開示することといたしました。これは、たばこ事業を営む当社グループの連結売上高の相当程度を占めるたばこ税については、事業を展開する世界各国でその課税の対象・根拠・課税標準等が異なることから、国内たばこ事業及び海外たばこ事業に係る経営上の意思決定等に使用する報告セグメント別の売上高として、たばこ税売上高を使用しているためです。

iii) EBITDAの開示

セグメント利益として、EBITDA(減価償却(有形固定資産、無形固定資産及び長期前払費用)及びのれん償却前の営業利益)を開示することといたしました。これはEBITDAを当社グループの経営意思決定及びセグメント別の利益指標として使用しているためです。

iv) セグメント利益の測定方法の見直しについて

セグメント利益につきましては、一部その測定方法について見直しを行いました。海外たばこ事業に区分される海外連結子会社においては、当社が保有するキャメル、ウィンストン等のブランド商標権等を使用してたばこ製品の製造・販売を行っており、当該ブランド商標権等の使用料(以下、ロイヤリティ)を当社に支払っております。従来、当該ロイヤリティのセグメント開示上の取り扱いにつきましては、国内たばこ事業のセグメント利益にロイヤリティ受取額を含めて測定し、海外たばこ事業のセグメント利益はロイヤリティ支払額控除後で測定してまいりました。しかし、各々のセグメントの利益管理においては、ロイヤリティの受け払いの影響を除いていることから、セグメント利益からもこれらの影響を除くことといたしました。

また、マネジメント・アプローチの適用を機に、全社共通経費、資本的支出の各報告セグメントへの配分についても一部見直しております。

v) たばこ事業における調整後税売上高の内訳表示について

国内たばこ事業の売上高には、当社たばこ製品の売上高に加え、他社たばこ製品（輸入たばこ製品）の卸売販売等に係る売上高が含まれております。また同様に、海外たばこ事業の売上高についても、他社たばこ製品の卸売販売を含む物流事業等に係る売上高が含まれております。

国内たばこ事業及び海外たばこ事業の業績をご理解いただくにあたり、これらの他社たばこ製品の卸売販売等に係る売上高を控除した売上高が有用であると考え、これを調整後税抜売上高として開示しております。なお、調整後税抜売上高測定のための調整内容につきましては2ページ（注）をご参照ください。

なお、「1. 当四半期決算に関する定性的情報（1）連結経営成績に関する定性的情報」に記載の2010年3月期第2四半期のたばこ税抜売上高、国内たばこ事業及び海外たばこ事業のたばこ税抜売上高及び調整後税抜売上高は、非監査の参考情報であり、「3. 四半期連結財務諸表（4）セグメント情報」に当該数値は記載されておられません。また、セグメント情報の新会計基準に基づく2010年3月期第2四半期のEBITDAの各数値につきましても、非監査の参考情報であり、「3. 四半期連結財務諸表（4）セグメント情報」に当該数値は記載されておられません。

※ 上記のほか、決算及び業績予想に関する参考情報を、別途「2011年3月期第2四半期 決算説明会資料」に記載しております。

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている、当社又は当社グループに関連する見通し、計画、方針、経営戦略、目標、予定、事実の認識・評価等といった、将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく、本資料の日付時点における予測、期待、想定、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。また、見通し・予想数値を算定するためには、過去に確定し正確に認識された事実以外に、見通し・予想を行うために不可欠となる一定の前提（仮定）を使用しております。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もありません。また、あらたな情報、将来の事象、その他の結果にかかわらず、常に当社が将来の見通しを見直すとは限りません。これらの記述ないし事実又は前提（仮定）が、客観的には不正確であったり将来実現しないという可能性の原因となりうるリスクや要因は多数あります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます。（なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません。）

- (1) 喫煙に関する健康上の懸念の増大
- (2) たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更（増税、たばこ製品の販売、マーケティング及び使用に関する政府の規制等）、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- (3) 国内外の訴訟の動向
- (4) 国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- (5) 国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- (6) 市場における他社との競争激化、銘柄嗜好の変化
- (7) 買収やビジネスの多角化に伴う影響
- (8) 国内外の経済状況
- (9) 為替変動及び原材料費の変動

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (2010年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2010年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	115,694	155,444
受取手形及び売掛金	371,737	296,884
有価証券	21,382	11,950
商品及び製品	157,379	151,062
半製品	85,879	109,621
仕掛品	5,036	5,522
原材料及び貯蔵品	282,531	288,893
その他	275,158	180,086
貸倒引当金	△2,899	△3,622
流動資産合計	1,311,899	1,195,843
固定資産		
有形固定資産	660,352	679,561
無形固定資産		
のれん	1,288,703	1,387,397
商標権	309,600	350,900
その他	27,234	30,766
無形固定資産合計	1,625,538	1,769,064
投資その他の資産		
投資有価証券	71,212	83,760
その他	173,499	179,061
貸倒引当金	△30,330	△34,695
投資その他の資産合計	214,381	228,127
固定資産合計	2,500,272	2,676,752
資産合計	3,812,171	3,872,595
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	204,732	149,462
短期借入金	71,596	109,263
コマーシャル・ペーパー	—	119,000
1年内償還予定の社債	126,597	50,395
1年内返済予定の長期借入金	21,554	23,024
未払たばこ税	256,548	212,066
未払たばこ特別税	19,794	10,490
未払地方たばこ税	161,841	85,238
未払法人税等	69,411	54,057
引当金	33,474	39,610
その他	287,264	248,926
流動負債合計	1,252,815	1,101,535

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (2010年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (2010年3月31日)
固定負債		
社債	247,581	409,014
長期借入金	158,698	149,569
退職給付引当金	239,289	251,902
その他の引当金	318	763
その他	216,790	236,532
固定負債合計	862,679	1,047,782
負債合計	2,115,495	2,149,317
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	736,409	736,406
利益剰余金	1,364,006	1,310,669
自己株式	△74,573	△74,575
株主資本合計	2,125,841	2,072,501
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	8,357	12,043
海外連結子会社の年金債務調整額	△24,493	△26,269
為替換算調整勘定	△489,504	△409,160
評価・換算差額等合計	△505,640	△423,387
新株予約権	617	564
少数株主持分	75,857	73,599
純資産合計	1,696,676	1,723,278
負債純資産合計	3,812,171	3,872,595

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (2010年4月1日から 2010年9月30日まで)
売上高	3,054,254	3,298,734
売上原価	2,494,239	2,707,102
売上総利益	560,015	591,631
販売費及び一般管理費	396,287	392,747
営業利益	163,727	198,884
営業外収益		
受取利息	2,543	1,035
受取配当金	1,368	610
持分法による投資利益	—	1,163
その他	3,811	2,796
営業外収益合計	7,722	5,606
営業外費用		
支払利息	15,437	9,353
為替差損	14,107	2,080
たばこ災害援助金	802	1,384
その他	5,970	5,481
営業外費用合計	36,317	18,299
経常利益	135,133	186,191
特別利益		
固定資産売却益	10,727	840
投資有価証券売却益	—	1,693
貸倒引当金戻入額	2,952	637
その他	777	527
特別利益合計	14,457	3,698
特別損失		
固定資産売却損	2,682	462
固定資産除却損	2,159	2,713
減損損失	1,418	2,429
事業構造強化費用	—	2,961
カナダにおける行政法規違反過料	—	13,365
その他	5,898	7,259
特別損失合計	12,158	29,192
税金等調整前四半期純利益	137,432	160,697
法人税等	68,147	75,360
少数株主損益調整前四半期純利益	—	85,337
少数株主利益	3,216	3,382
四半期純利益	66,068	81,954

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (2010年4月1日から 2010年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	137,432	160,697
減価償却費	65,992	60,354
減損損失	1,418	2,429
固定資産除売却損益(△は益)	△6,792	1,610
カナダにおける行政法規違反過料	—	13,365
のれん償却額	49,590	47,153
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△1,370	△3,121
受取利息及び受取配当金	△3,911	△1,645
支払利息	15,437	9,353
売上債権の増減額(△は増加)	△25,454	△91,798
たな卸資産の増減額(△は増加)	△61,797	△3,289
仕入債務の増減額(△は減少)	△553	62,657
未払金の増減額(△は減少)	△12,236	△12,312
未払たばこ税等の増減額(△は減少)	26,128	148,099
その他	△245	35,155
小計	183,635	428,707
利息及び配当金の受取額	5,174	3,035
利息の支払額	△22,596	△13,396
カナダにおける行政法規違反過料の支払額	—	△13,365
法人税等の支払額	△61,034	△63,253
営業活動によるキャッシュ・フロー	105,179	341,728
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	—	△11,802
有価証券の売却及び償還による収入	1,903	4,700
有形固定資産の取得による支出	△50,753	△64,249
有形固定資産の売却による収入	17,158	3,737
無形固定資産の取得による支出	△3,130	△2,999
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,503	8,527
定期預金の預入による支出	—	△13,600
定期預金の払戻による収入	—	7,581
子会社株式の取得による支出	△980	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△354	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△646
その他	△4,924	△1,876
投資活動によるキャッシュ・フロー	△39,578	△70,628

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (2009年4月1日から 2009年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (2010年4月1日から 2010年9月30日まで)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金及びコマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	134,990	△151,209
長期借入れによる収入	1,615	30,000
長期借入金の返済による支出	△105,630	△12,180
社債の発行による収入	99,804	—
社債の償還による支出	△192,151	△50,150
配当金の支払額	△26,818	△28,734
少数株主からの払込みによる収入	—	221
少数株主への配当金の支払額	△2,664	△523
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△3,058	△2,634
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△93,914	△215,211
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,015	△7,616
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△18,298	48,270
現金及び現金同等物の期首残高	167,257	154,368
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	194
現金及び現金同等物の四半期末残高	148,959	202,834

(4) セグメント情報

事業の種類別セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(2009年4月1日から2009年9月30日まで)

	国内たばこ (百万円)	海外たばこ (百万円)	医薬 (百万円)	食品 (百万円)	その他 (百万円)	合計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部売上高	1,575,709	1,245,728	22,120	200,845	9,851	3,054,254	—	3,054,254
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	29,495	18,415	—	98	5,315	53,325	(53,325)	—
計	1,605,205	1,264,143	22,120	200,943	15,167	3,107,579	(53,325)	3,054,254
営業利益又は営業損失 (△)	110,840	59,857	△6,813	△5,660	5,501	163,725	1	163,727

(注) 1. 事業区分は、製品の種類、性質、販売市場等から総合的に区分しております。

2. 各事業区分の主要製品(商品又は役務を含む)

(1) 国内たばこ…製造たばこ(国内免税市場及び当社の中国事業部が管轄する中国、香港、マカオ市場におけるたばこ事業を含んでおります。)

(2) 海外たばこ…製造たばこ

(3) 医薬……………医薬品

(4) 食品……………清涼飲料水、加工食品

(5) その他……………不動産賃貸、リース他

3. 営業費用に含まれているセグメント別の減価償却費、のれん償却額は以下のとおりであります。

減価償却費(有形固定資産、無形固定資産及び長期前払費用)

	国内たばこ (百万円)	海外たばこ (百万円)	医薬 (百万円)	食品 (百万円)	その他 (百万円)	合計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
前第2四半期 連結累計期間	27,500	27,128	1,892	8,258	1,164	65,944	47	65,992

のれん償却額

	国内たばこ (百万円)	海外たばこ (百万円)	医薬 (百万円)	食品 (百万円)	その他 (百万円)	連結 (百万円)
前第2四半期 連結累計期間	544	43,254	—	5,807	—	49,606

4. 「国内たばこ」には当社の連結子会社であるTSネットワーク㈱を含んでおり、同社は当社たばこ製品の配送業務等のほか外国たばこ製品(輸入たばこ製品)の卸売販売等の業務を行っております。なお、同社を通じて販売される輸入たばこ製品の売上高は以下のとおりであります。

(前第2四半期連結累計期間)

560,938 百万円

5. 「海外たばこ」に区分した海外連結子会社の年度決算日は12月31日であり、2009年1月1日から2009年6月30日までを前第2四半期連結累計期間に計上しております。

セグメント情報

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営陣が経営資源の配分の決定等のために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは主に製造たばこ、医薬品、食品を製造・販売しており、その内製造たばこについては、国内と海外に分けて事業管理を行っております。

したがって当社グループは、製品の種類、性質、販売市場等から総合的に区分されたセグメントから構成されており、「国内たばこ事業」、「海外たばこ事業」、「医薬事業」、「食品事業」の4つを報告セグメントとしております。

「国内たばこ事業」は、国内(国内免税市場及び当社の中国事業部が管轄する中国、香港、マカオ市場を含みます)での製造たばこの製造・販売を行っております。「海外たばこ事業」は、製造・販売を統括するJT International S. A. を中核として、海外での製造たばこの製造・販売を行っております。「医薬事業」は、医療用医薬品の研究開発・製造・販売を行っております。「食品事業」は、清涼飲料水、加工食品、調味料の製造・販売等を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(2010年4月1日から2010年9月30日まで)

	国内たばこ (百万円)	海外たばこ (百万円) (注)3	医薬 (百万円)	食品 (百万円)	合計 (百万円)
売上高					
(1)外部売上高(注)1	577,080	517,974	23,128	196,858	1,315,041
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	15,458	24,295	—	62	39,816
計	592,539	542,269	23,128	196,921	1,354,857
セグメント利益又は損失(△)(注)2	150,144	153,866	△4,800	9,646	308,856

(注)1. 当社グループでは事業管理上、売上高に含まれるたばこ税相当額を控除した売上高(たばこ税抜売上高)にて、売上高を管理しております。

なお、国内たばこ事業、海外たばこ事業の外部売上高におけるたばこ税込売上高及びたばこ税抜売上高の内訳は以下の通りであります。

当第2四半期連結累計期間	国内たばこ (百万円)	海外たばこ (百万円)
たばこ税込売上高	1,732,948	1,336,030
たばこ税抜売上高	577,080	517,974
内、調整後税抜売上高(*)	351,447	454,094

(*) 国内たばこ事業の売上高には、当社たばこ製品の売上高に加え、他社たばこ製品(輸入たばこ製品)の卸売販売等に係る売上高が含まれております。また同様に、海外たばこ事業の売上高についても、他社たばこ製品の卸売販売を含む物流事業等に係る売上高が含まれております。国内たばこ事業及び海外たばこ事業の業績をご理解いただくにあたり、これらの他社たばこ製品の卸売販売等に係る売上高を控除した売上高が有用であると考え、これを調整後税抜売上高として開示しております。なお、調整後税抜売上高測定のため、以下の調整を行っております。

国内たばこ事業においては輸入たばこ、国内免税、中国事業等に係る売上高を控除しております。海外たばこ事業においては物流事業、葉たばこ販売、製造受託等に係る売上高を控除しております。

2. セグメント利益又は損失は、減価償却(有形固定資産、無形固定資産及び長期前払費用)及びのれん償却前営業利益ベースの数値(EBITDA)であります。

なお、報告セグメントごとの減価償却費及びのれん償却額は以下のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間	国内たばこ (百万円)	海外たばこ (百万円)	医薬 (百万円)	食品 (百万円)	合計 (百万円)
減価償却費	21,828	25,966	1,989	8,180	57,964
のれん償却額	544	41,813	—	4,805	47,163

3. 海外たばこに区分したJT International S.A.を中核とする海外連結子会社グループの年度決算日は12月31日であり、2010年1月1日から2010年6月30日までを当第2四半期連結累計期間に計上しております。

3. 報告セグメントの合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)
当第2四半期連結累計期間(2010年4月1日から2010年9月30日まで)

売上高	金額 (百万円)
報告セグメント計	1,354,857
その他の売上高(注)1	14,677
セグメント間取引消去	△44,724
たばこ税相当額	1,973,923
四半期連結損益計算書の売上高	3,298,734

利益	金額 (百万円)
報告セグメント計	308,856
その他の利益(注)1	6,642
本社経費(注)2	△9,135
セグメント間取引消去	△524
その他の調整額	563
小計(注)3	306,402
減価償却費	△60,354
のれん償却額	△47,163
四半期連結損益計算書の営業利益	198,884

- (注) 1. その他の売上高及びその他の利益は不動産賃貸に係る事業活動等を含んでおります。
2. 本社経費は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であり、企業広報経費や本社コーポレート部門運営費等が含まれております。
3. 小計は全社での減価償却(有形固定資産、無形固定資産及び長期前払費用)及びのれん償却前営業利益ベースの数値(EBITDA)であります。

(5) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。